

# 備前岡山の在村医 中島家の歴史

中島医家資料館・中島文書研究会編著

2015年11月刊行

▶B5判・320頁／定価：本体 10,000円（税別） ISBN978-4-7842-1826-4

中島（なかしま）家は、瀬戸内市邑久町北島に二代玄古が居を構え、今日（十代祐一）まで医業を継続している在村医家である。その恵まれた立地条件と、長らく在村医として郷里に尽くしたこと、戦中戦後の混乱を恐れて家を封印していたことにより、書籍・古文書・器物類の散逸を免れた。そのため、その史料群は「未盗掘の古墳」にたとえられている。

本書は、江戸中期より続く在村医家に残る貴重な書籍・古文書・器物類の解説・分析を通して、当家歴代の生涯、研究論文9篇、史料翻刻5篇、蔵書目録および年表を収録。中島家の医業の歩みに光を当てる一書。

## ※内容目次※

### I 中島家の歴史

- 第一章 中島姓の由来
- 第二章 中島多四郎友行
- 第三章 中島友三（医門第一世）
- 第四章 中島玄古（医門第二世）
- 第五章 中島宗仙（医門第三世）
- 第六章 中島友玄（医門第四世）
- 第七章 中島玄章（医門第五世）
- 第八章 中島 哲（医門第六世）
- 第九章 中島一太（医門第七世）
- 第十章 中島達二（医門第八世）

中島洋一（医門第九世）

### II 研究論文・史料

- 地域医療史研究の端緒としての中島家文書  
—『鍼灸施治姓名録』をもとに—
- 中島友玄の患者の診療圏について
- 中島友玄と岡山県邑久郡における江戸末期から明治初期の種痘
- 事業者としての友玄  
—製売薬から見た中島家の家業経営—

松村紀明  
（帝京平成大学講師）

木下 浩  
（中島医家資料館主任研究員）

- 中島宗仙・友玄と一九世紀日本の漢蘭折衷医学

梶谷真司  
（東京大学教授）

- 『胎産新書』諸本について  
—中島家所蔵本を中心として—

清水信子  
（二松学舎大学非常勤講師）

- 『回生鉤胞代臆』からみた中島友玄の産科医療

鈴木則子  
（奈良女子大学教授）

- 地域社会における宗教者たち  
—神子家中島氏とその位置づけを巡って—
- 中島哲と明治期岡山の美笑流

平崎真右  
（二松学舎大学博士後期課程）

- 回生鉤胞（代）臆 ※
- 中島友玄の京学日記 ※
- 中島宗仙書簡集 ※

板野俊文・田中健二・中島洋一  
（香川大学名誉教授）  
（同上）

- 京遊厨費録
- 筑紫行雑記

町泉寿郎  
町泉寿郎  
松村紀明

### III 中島家蔵書目録

清水信子編

### IV 中島家年表

清水信子編



## 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	備前岡山の在村医 中島家の歴史	本体10,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1826-4	
お名前		tel	本書HPのQRコード		
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

## 緒方洪庵の「除痘館記録」を読み解く

緒方洪庵記念財団除痘館記念資料室編

第一部で「除痘館記録」の原本図版・翻刻・現代語訳・註と解説、第二部に論考を配し、幕末という当時の歴史的背景や具体相、あるいは洪庵を取り巻く状況や環境などを丁寧に解説することで、より多くの人々が緒方洪庵と除痘館事業の活動を再認識できるよう構成し、病いとの闘いに迫る。

▶A5判・216頁／本体2,300円(税別)

ISBN978-4-7842-1806-6

## 緒方惟準伝 緒方家の人々とその周辺

中山沃著

洪庵の嫡子で、ボンベ、ボードインらに学んだ惟準は、宮廷医療への西洋医学導入、大阪大学医学部・軍医学校の前身創設、大阪での医療基盤確立などに貢献。その自叙伝「緒方惟準先生一夕話」を軸として、著者が博搜した資料とともにその生涯と交遊を詳述。幅広く網羅された本書は幕末・明治初期の医学界をもものがたる基本図書。

▶A5判・1,018頁／本体15,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1563-8

## ※箕作阮甫の研究

蘭学資料研究会編

医学・地理・歴史・兵学・地質・物理・天文・法律・語学と多方面にわたり先見性に富んだ数々の業績を残した箕作阮甫。各分野の専門家が今新たな視点でその再評価を展開する。【執筆者】児玉幸多／緒方富雄／大久保利謙／小沢栄一／菊池俊彦／石山洋／呉直彦／富士川英郎／土屋喬雄／菱本丈夫／呉茂一／中山沃／小山健三／江原滋

▶A5判・700頁／本体13,000円(税別)

ISBN4-7842-0035-5

## 前野良沢 生涯一日のごとく

鳥井裕美子著

解体新書の訳者として知られる江戸時代の蘭学者・前野良沢の評伝。これまで『解体新書』刊行を中心に論じられてきた良沢の生涯を、彼の著訳書や周辺資料から再検討し、新たな良沢像を構築する。巻頭に口絵写真、巻末に前野良沢年譜・主な参考文献を付す。

▶B6判・334頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1786-1

## 高良齋とその時代 附・日本散瞳薬伝来史

福島義一著

寛政11年(1799)徳島に生まれ、本草学を乾純水、医学を養父高錦国に、長崎では吉雄権之助、シーボルトに西洋医学を学び、のち大坂で眼科を開業して名声を博した高良齋の生涯と業績を一書に纏める。高良齋著訳書の研究、研究文献、年表を収めた基本図書。シーボルトにも新たな光が当てられる。

▶A5判・270頁／本体3,800円(税別)

ISBN4-7842-0906-9

## 眼科医家人名辞書

奥沢康正・園田真也編

地方の郷土史、地方医史をはじめ、人名辞典、人物誌などから江戸・明治の眼科を生業とした医師たち483名のプロフィールを略述。眼科を専業とした医師に限らず、内科・外科を専業としながらも眼疾患の患者を診た人々も収録。主要流派(32件)については、その流派の説明を本文中に挿入、医系図・家系図も多く掲載。

▶A5判・304頁／本体4,000円(税別)

ISBN4-7842-1327-9

## 近代京都の施薬院

八木聖弥著

明治維新から大正にかけて施薬・施療に人生をかけた安藤精幹が、貧困者への医療普及としてとった手段は、奈良時代に貧窮病者救済のために設置された「施薬院」の復興であった。一個人の施薬場から始まった行動は慈善事業として拡大していく。「施薬院」を中心として京都世界の歴史を描き出し、近代化していく日本の側面を考察する。

▶A5判・304頁／本体3,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1705-2

## 医療の社会史 生・老・病・死

京都橋大学女性歴史文化研究所編

医療の社会的展開が通史的にうかがえるようにすることを企図した論文9本・コラム4本収録。【内容】平安中後期における貴族と医師／鎌倉幕府の医師／『本草綱目』に見る中国医療の到達点／室町・戦国期の山科家の医療と「家業」の形成／曲直瀬玄朔とその患者たち／幕末京都における医家と医療／明治前期の村と衛生・病気 ほか

▶A5判・304頁／本体2,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1677-2

## 緒方郁蔵伝 幕末蘭学者の生涯

古西義麿著

緒方郁蔵(1814-1871)は、備中国築瀬村(現岡山県井原市)で生まれ、江戸に遊学ののち適塾に入門、多くの医書を翻訳した。緒方洪庵の義兄弟となり、医師として開業する傍ら、独笑軒塾を開いた。本書は、生い立ちから58歳で没するまでの生涯を、遺された著書や資料を丹念に読み解き、幕末の蘭学者・緒方郁蔵の実像を明らかにする。

▶A5判・186頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1774-8

## 緒方洪庵の蘭学

石田純郎編著

蘭学者らが学んだ原典とその著者たちのプロソグラフィ(集団履歴調査法)的研究を通して日本医学の質を明かす。

【内容】緒方洪庵の蘭学／蘭学書の原著者たち／東アジアの西洋学／ヨーロッパ医療界における蘭学のモデルの位置付けについて

▶A5判・366頁／本体4,800円(税別)

ISBN4-7842-0751-1

## ※岡山県の教育史

ひろたまさき・倉地克直著

岡山県の特徴ある教育・文化を紹介し、寺子屋・郷学校・私塾・藩校などの教育施設のほか、広く社会・宗教・産業教育などにもふれ、古代から明治前期までを扱う。各地域の教育・文化に貢献した人物をとりあげ、教育的事跡を紹介。付録として教育史年表・参考文献・地図などを収録。

▶46判・382頁／本体1,800円(税別)

ISBN4-7842-0502-0

## 医療福祉の祖 長与専斎

外山幹夫著

日本近代の医療・衛生・福祉の確立者ともいべき長与専斎の生涯に焦点をあて、明治新政府の政策のなかで近代医療福祉制度がどのように整備されていったのか、専斎の果たした功績に即して紹介する。長与専斎とその家族・交友関係など幅広い視点から、医療の世界における“明治維新”を地元大学の歴史家が描く。

▶46判・200頁／本体2,000円(税別)

ISBN4-7842-1107-1

## 在村蘭学の研究

青木歳幸著

信濃の、医師による医療のひろがり、医師の組織化、医療の近代化等の医療をめぐる歴史的变化に、在村蘭学がどのようにかかわっていたのか、江戸時代の地域社会のなかでどのような歴史的展開をたどったか、とくに庶民生活とどう関わっていたかを明かすとともに、蘭学の全体像にたいしての位置付けと見通しにとりくんだ成果。

▶A5判・460頁／本体8,600円(税別)

ISBN4-7842-0963-8

## 小児科学の史的変遷

深瀬泰旦著

内外の医学書原著をひもとき、小児科学の誕生や発展の跡をたどった論考集。とりわけ小児感染症の歴史的变化を通観し、近年大学生の間で再流行した麻疹など、忘れ去られつつある感染症を考究する。小児科医が減少の一途をたどり、高齢化が進む現今、著者が一小児科医の使命として、小児科学史への注目を喚起した一冊。

▶A5判・604頁／本体9,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1526-3

## 京都療病院お雇い医師シヨイベ

滞日書簡から

森本武利編著／酒井謙一訳

治療・教育・研究にあたって優れた成果を挙げたドイツ人のお雇い医師シヨイベ(1853-1923)の、滞日中(1877-1881)に母へ送った書簡の翻訳を通して、シヨイベの生涯をはじめ、人々との交流や居留地での生活から明治初期京都の風俗にいたるまで、生き生きとよみがえらせる。

▶A5判・346頁／本体7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1581-2

## 東大医学部初代総理池田謙齋

池田文書の研究 [上・下巻]

池田文書研究会編

池田謙齋(1841-1918)宛の約4,000通の文書類を翻刻。東大医学部の前身である幕府医学所関係文書や書簡、東京大学中枢部・陸軍軍医部・宮内省侍医として関係のあった各宮家、同僚侍医、患者としての華族や高級官僚などによる謙齋宛書簡を上・下2分冊で収録。

▶A5判・総740頁／揃本体14,600円(税別)

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。